

富士電子工業株式会社



代表者:代表取締役社長 渡邊 弘子 住所:大阪府八尾市老原 4-16
電話: 072-991-1361(営業部) URL: <http://www.fujidenshi.co.jp/>
設立: 1960年 従業員数: 114名
採用:【新卒】経常的に1~6月に就職サイトを通じ数名、【中途】必要に応じ随時数名

GNTとなっている製品・サービスとその内容、強みの理由

同社は、高周波誘導加熱(IH熱処理)による高精度な焼入技術のエキスパートです。特に自動車の心臓部にあたるエンジン動弁系の主要部品であるクランクシャフトに、高周波を用いて焼入を施す設備は世界2~3割のシェアを有しています。

同設備には、エロテルム方式と呼ばれる独特な焼入方式を採用し、さらには回転角度に応じて出力の調整をしながら円周方向の硬化層深さを調節する同社独自のパワーリダクション方式で歪みを最小限に低減。今やエンジンの高強度・軽量化には欠かせない高品位な焼入を実現しています。

特に、フィレット部焼入については他の追随を許さない優れた技術を確立しています。確立された技術だけを武器にするのではなく、節目に様々な改良を繰り返し、工夫を凝らしてより良い製品の開発に持続的に取り組んでいます。



クランクシャフト焼入設備



クランクシャフト

IH熱処理の応用研究を重ね、独特な焼入方式を実現
(エンジンの高強度・軽量化に不可欠の高品位な焼入が可能)

GNTとなるプロセスで生じた課題とその克服の内容

同社は1960年に創業し、安定した確実な焼入方案に拘り、創業以来培ってきた技術、ノウハウに加え、それらを時代や顧客のニーズに合わせて改良しており、海外でも高いシェアを獲得し続けています。

本設備の開発に当たっては、歪制御、均一な硬化層、割れに対する安全性等数多くのノウハウを蓄積してきたことにより、「クリーン」「省エネルギー」「高強度」「軽量化」「前後工程削減」「生産効率の向上」等の特徴を持つ高精度な加工品質を実現しています。

海外展開においては、当初、クランクシャフト焼入設備のコイルはある種の消耗部品であり要の技術製品である為、製造は同社で行っていましたが、やがて海外にてコイルのコピー製品が出回るようになりました。その時には、一時的ではありましたが売上が大幅に減ることになりました。その教訓を踏まえ、その後、納入先の多い地域に関しては、現地の会社との協力関係を結んだり、子会社を現地に作ったりして、メンテナンス等の部分でサポート体制を敷いて対応しています。

現在では自動車メーカーを中心に20カ国以上に設備を販売しています。